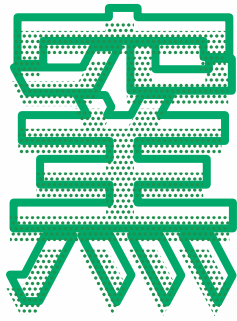


持続可能な循環型ライフスタイルを実現する

低温乾燥加工



かま

保存



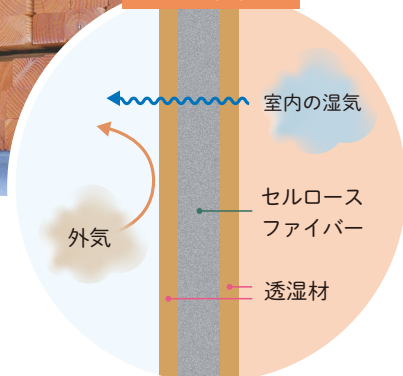
くら

窯蔵®でつくる島生木

“窯蔵®”は、建築用木材から食材まで低温乾燥加工のできる<窯>と、壁体の高断熱・透湿性能によって良好な素材保存や快適な居室空間として利用可能な<蔵>とが融合した、多機能マルチ小屋です。



透湿の仕組み



シマセイボク

島生木という製品ブランド

島生木とは、瀬戸内の島に立地する当社窯蔵®でつくる低温乾燥木材のことです。生木（セイボク）には防虫、芳香、精油など有効成分、酵素が天然乾燥と同等に生きたまま残り、高温乾燥材よりも丈夫で環境負荷も抑えられています。環境にやさしい製品ブランドです。

製造方法

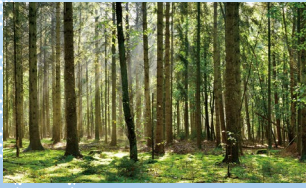
窯蔵®の透湿する壁体内は新聞紙を原料としたセルローズファイバーが起用され、断熱とともに吸放湿する優れた性能を有します（Z工法）。この工法と屋内の温風循環、屋外への吸放湿により材料を効率的に乾燥加工します。



島の暮らしと共にある窯蔵®の機能



窯蔵



低温乾燥木材

約45～50度の温風循環により、防虫、芳香、精油成分を保持したままの生きた建材（島生木）を短期間でつくることができます。木質家具の製作から古民家の修繕、リフォームなどに向けた建材の小ロット、セミオーダーが可能です。



食品の乾燥にも適した空間

低温乾燥加工による、島の魚介やフルーツの特産品開発も可能です。木材の乾燥加工と同じく酵素等の有効成分を保持したまま、食材の甘みを増し美味しい保存食が出来ます。

健康空間

木材の乾燥加工により発生する、フィトンチットや樹脂の有効成分が室内の木材や漆喰の壁に満たされた状態で残るので、健康空間としての利用もできます。木材の乾燥工程外の期間には居室としてワークショップやリラクゼーション等、イベントスペースとしても利用できます。



Z工法による住宅から<現代版の蔵>

窯蔵®は、断熱/吸放湿性能の高い<Z工法>による住宅から生まれました。結露を生じない呼吸する健康住宅の追求の行く末は、ヒトにもモノにも環境にもやさしい、生活を支えるための現代版の蔵へとたどり着きました。



幸家大郎建築研究所

Z工法(石津建設)